



2011 - 2012
杉戸中央ロータリークラブ 週報
 会長 真中博克
 幹事 深瀬英太郎
 会報・雑誌委員会 細井健司

第856回 例会2011. 11. 3(祝日)

第857回 例会2011. 11. 10

11月13日(日)地区大会ゴルフに振替え

第858回 例会2011. 11. 17

司会 若木会員

点鐘 真中会長

君が代 ロータリーソング 奉仕の理想

四つのテスト唱和 細井会員

お客様紹介

日本赤十字血液センター 太田 勉様
 本田 正樹様

幹事報告

■ 新世代部門より第24回インターアクト協議会及び韓国訪日歓迎会のご案内が届いております。平成24年1月8日(日)戸田市文化会館にて開催されます。



深瀬幹事

■ ガバナー事務所より、タイ洪水被害に対する義援金のお願いが届いております。

■ 広報部門より11月18日(金)17:00 埼玉テレビ「ごご玉」にて、11/13「地区大会における新世代の紹介」という内容でロータリークラブの活動が放映されますと案内が来ております。

■ 会員増強部門より、平成23年11月28日(月)ラフォーレ清水園で開催される入会3年未満、新会員の集い開催の案内が届いております。

■ 杉戸町役場より、平成24年1月11日(水)10:30~すぎとピアで開催される、平成24年杉戸町新春賀詞交歓会の案内が届いております。当クラブからは、6名以内の募集です。

■ 10月8日(土)9日(日)さいたま新都心にて開催された「ポリオ撲滅チャリティー・バザー」の収支報告が届いております。

献血について

太田 勉様

私たちの体の中を流れている血液は、生命を維持するためにいろいろな働きをしています。血液は生きている細胞であり、医療技術の発達した現在でも血液とまったく同じ作用をもつものを人工的につくることは出来ません。ですから、血液はみなさんの献血へのご協力により提供していただく必要があります。皆様のご協力をお願いします。



献血には、すべての血液成分を採血する全血献血と成分採血装置を用いて、自動的に血液中の血しょうや血小板だけを採血し、赤血球はお返りする成分献血があります。

献血された貴重な血液は、血液センターに運ばれ、すべての献血血液に対する血液型や各種ウイルス等の抗原・抗体検査などの厳しい検査を行っています。そして検査に合格した血液は、血液の全成分が含まれる「全血製剤」や赤血球・血しょう・血小板の成分ごとに分けられた「血液成分製剤」に調整されます。また、このような輸血用血液だけでなく、血しょう分画製剤の原料にもなります。さらに調整された輸血用血液は、厳重な品質管理のもとで、冷凍庫や冷蔵庫に保管されます。この

ようにして血液の供給は、いつでも医療機関の要請に応じられるように、24時間体制で行われています。

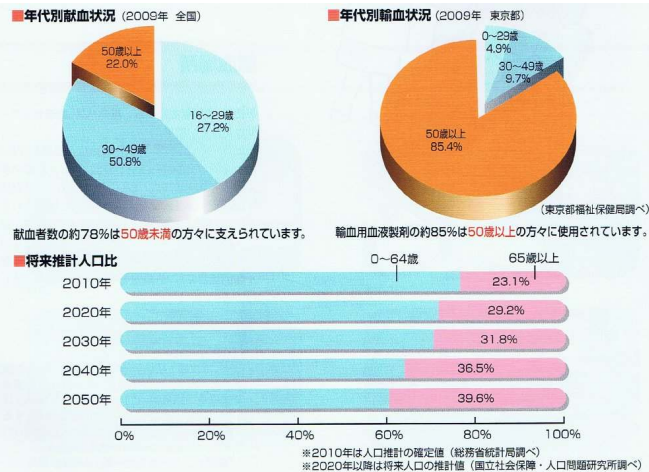


献血方法別の採血基準

| 項目 | 全血献血 | | 成分献血 | |
|--------|---|----------------------------|---|-------------------------|
| | 200mL献血 | 400mL献血 | 血漿成分献血 | 血小板成分献血 |
| 1回献血量 | 200mL | 400mL | 600mL以下 (血漿血容量の12%以内) | 400mL以下 |
| 年齢 | 16歳～69歳* | 男性17歳～69歳* 女性18歳～69歳* | 18歳～69歳* | 男性18歳～69歳* 女性18歳～54歳 |
| 体重 | 男性45kg以上 女性40kg以上 | 男女とも 50kg以上 | 男性45kg以上 女性40kg以上 | |
| 最高血圧 | 90mmHg以上 | | | |
| 血色素量 | 男性12.5g/dL以上 女性12g/dL以上 | 男性13g/dL以上 女性12.5g/dL以上 | 12g/dL以上 (血色素量が検査日に 常時11.5g/dL以上) | 12g/dL以上 |
| 血小板数 | — | — | — | 15万/μL以上 60万/μL以下 |
| 年間献血回数 | 男性6回以内 女性4回以内 | 男性3回以内 女性2回以内 | 血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内 | |
| 年間総献血量 | 200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内、女性800mL以内 | | — | — |

*65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

血液センターでは、医療機関の血液需要をあらかじめ予測し、これに沿って献血のご協力をお願いしています。しかし、年間を通じて血液の需要はほぼ一定であるのに対し、献血者数には変動があります。全国的に見ると、特に冬場から春先にかけては、風邪など体調を崩す方が多いことや、学校や企業、団体などの協力が得られにくくなることから献血者が減少してしまいます。また、お盆や年末年始なども一時的に減少しがちです。献血者の減少は、長期保存のできない輸血用血液製剤の不足を引き起こします。このような場合、全国にある血液センター間の相互協力により、医療機関へ血液が確実に届くようにしておりますが、常に迅速かつ安定的な供給を図るために献血者の減少時期のご協力が一層もとめられています。



輸血用血液の大半は高齢者の医療に使われています。年代別輸血状況調査によると輸血用血液製剤の約85%は50歳以上の方々に使われています。一方、献血者の年齢層を見ると約78%が50歳未満(その内の約27%が16-29歳)と、健康な若い世代が高齢者医療の多くを支えている

現状があります。今後少子高齢化が進むにつれて、現在の献血者比率がこのまま推移していくと、救命医療に重大な支障来たす恐れがあります。本格的な少子高齢化社会を迎えるにあたって、より幅広い年代層による献血の協力体制を必要としています。

献血による献血後の日常生活への影響と血液の回復期間についてですが、献血直後でも、日常生活には問題ありません。また、常に再生されているので、成分献血では約1週間、全血献血200ml献血で2～3週間、400ml献血で3～4週間で赤血球が回復します。

また献血申込書の記入時にB型肝炎、C型肝炎、梅毒、HTLV-1抗体の検査結果を希望された方は、異常を認めた場合のみお知らせします。ただし、各種ウイルスには検出不可能な期間があることから、検査結果を知ることが目的とした献血は固くお断りします。なお、献血にご協力いただいた方々への感謝の気持ちとして、生化学検査(肝機能)成績及び血球係数検査(血液疾病)について希望者にお知らせしています。

11月生まれ会員・夫人誕生祝い

折原会員

- 真中会員(5日)
- 高橋会員(14日)
- 栗原会員(17日)
- 渋谷会員(19日)
- 影山利子様(29日)



出席報告・スマイル報告

折原会員

| 会員数 | 出席 | 欠席 | MU | 出席率 |
|-----|----|----|----|--------|
| 24 | 14 | 10 | 8 | 87.50% |

真中会長: 深瀬幹事: 石塚会員: 折原会員: 栗原会員
小柳会員: 武井会員: 中野会員: 細井会員: 若木会員:
矢島会員: 渡辺会員

第859回 例会2011. 11. 24

夜間例会(大吉)18:30 点鐘

